

平成28年度施策評価調書

整理番号	15
評価担当課	建設水道部上下水道室工務課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	合併浄化槽の設置(3-11-4)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	11	下水道・個別排水の整備

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	美しい自然環境を守り、農村地区においても公共下水道区域と同様に衛生的な生活環境の保全を図り、公平な市民生活を提供します。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	個別排水処理施設整備事業により、農村地区の住宅を対象に合併浄化槽の整備を実施している。
施策の課題	合併浄化槽の老朽化にともない、修繕件数が増加しており、施設の維持管理が課題です。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
合併浄化槽の整備基数	農村地区における合併浄化槽の整備した基数	目標値	12	12	12	616
		実績値	18	10	10	-
		進捗率	150%	83%	83%	-
合併浄化槽の普及率	農村地区における合併浄化槽の普及率(個人による整備も含む)	目標値	-	-	-	-
		実績値	60.0%	62.4%	64.8%	-
		進捗率	-	-	-	-
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	新築住宅需要に左右されるため、年度毎に多少の増減はあるものの、目標値を上回る整備基数を実施していることから順調と判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も、計画に基づき事業を実施していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	個別排水処理施設 整備事業	生活排水処理基本計画に 基づき合併浄化槽の整備 を実施する。	14,191	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	15	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	工務課下水道係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	個別排水処理施設整備事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	11	下水道・個別排水の整備
		基本事業	4	合併浄化槽の設置
		実施計画事業	1	個別排水処理施設整備事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	美しい自然環境を守り、農村地区においても公共下水道区域と同様に衛生的な生活環境の保全を図り、公平な市民生活を提供します。					
対象(何を又は誰を)	農村地区の住宅					
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	個別排水処理施設整備事業により、農村地区の住宅を対象に合併浄化槽の整備を実施する。					
意図(どのような成果を期待しているか)	美しい自然環境を守り、衛生的な生活環境の保全を図る。					
事業実施主体	名寄市					
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等	請負	その他()
事業実施期間	始期	H8 年度	終期設定	有 (終期	年度)	無
根拠法令・条例等	名寄市個別排水処理施設条例					

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 合併浄化槽の整備基数	基	目標	12	12	12	12	616
			実績	18	10	10	—	—
	2		目標					
			実績					
3		目標						
		実績						
成果指標	1 合併浄化槽の普及率	%	目標	—	—	—	—	—
			実績	60.0%	62.4%	64.8%	—	—
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	23,594	11,988	14,191	19,500	合併浄化槽の整備 10基
国道支出金					
地方債	21,200	10,700	12,700	17,500	5人槽 :5基
その他	2,359	1,199	1,419	1,950	7人槽 :3基
一般財源	35	89	72	50	10人槽 :2基
人件費	3,342	3,315	3,245	3,122	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.50	0.50	0.50	0.50	
総事業費	26,936	15,303	17,436	22,622	
対前年比(%)	—	57	114	130	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画搭載事業であり、公共下水道事業と関連した事業であるため市が主体的に実施することは妥当である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	合併浄化槽は、生活排水の処理をするうえで公共下水道と同等の効果があり、公平で衛生的な生活環境を確保できるため有効な手段である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	工事費の10%を分担金として使用者負担としている。合併浄化槽のコストを削減するため、安価な製品を使用するなど設計に配慮している。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	本事業での分担金は、一般的に10%とされており、名寄市においても10%としているため妥当である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	生活排水処理基本計画よりH27年度の目標値が492基に対し実施が494基で、達成率が100.4%となっているため順調である。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	合併浄化槽の整備基数は新築住宅需要に左右されるため、年度毎の整備基数に多少の増減はあるものの、目標値を上回る整備基数を実施していることから順調と判断した。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり